

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム南濃「福寿苑」

目標達成計画

作成日：平成 22年 5月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回避難訓練を実施しているが、実際災害・火災etcが起きた時に、地域住民との協力体制がとれるかどうかが問題である。	地域の方々や家族の方々と交えての避難訓練を行い、協力体制がとれるようにシミュレーションを行う。	運営推進会議後に、避難訓練を計画し地域の方々にも参加して頂く。	6ヶ月
2	5	以前、お便りを発行していたが、現在は途絶えている。その後は、運営推進会議の場でホームでの生活状況を報告しているが、地域の方々にもう少し理解を深めて頂く為には、書面等で定期的に報告できるお便りを再発行させる必要がある。	南濃だよりを発行し、地域の方々や家族の方々への理解を深める	写真の掲載やお便りの発行について、一部の家族の方々は、反対している。しかし、それ以外の家族の方々には、尋ねていない為、アンケートをとりその結果で今後の発行については、前向きに取り組んでいく。	6ヶ月
3	10	ホームへの意見や相談については、面会時に職員から声をかけたり、書面で呼びかけたりと、努力をしているが、家族からの意見がなかなかホーム側に伝わってこない。	家族と話し合う機会を設けたり、書面によるアンケートを取るなど、家族が意見を表出できる方法を工夫し、運営に反映させていく。	家族の方へアンケートを送付し、回答を無記名で返送して頂くことにより、多くの意見を回収し運営に反映させていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。